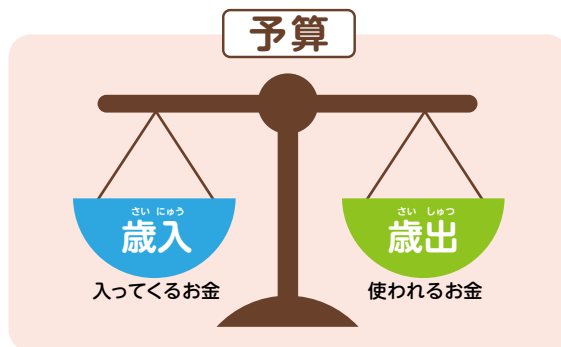


①「予算」は 目的に応じてつくられています

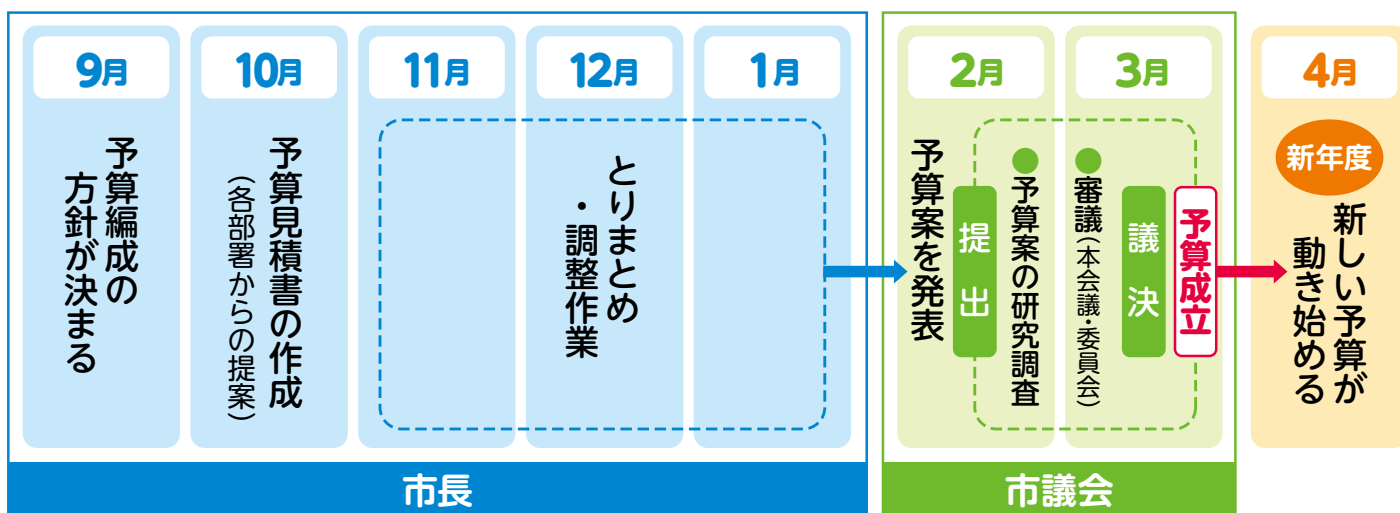
予算って何？

市では、教育、福祉、ごみ処理、消防、道路の整備など、さまざまな行政サービスを市民に提供していますが、どのような行政サービスにどのくらいお金を使うかについて、あらかじめ決めておく必要があります。そこで、新しい年度が始まる前に、税金などの収入と、行政サービスに使い支出の金額を見積もり、事業の内容を計画します。この見積もりを「予算」といいます。



「予算」は市長が案をつくり、市議会が決定します。

▶ 予算づくりの流れ



ことばの解説①

補正予算

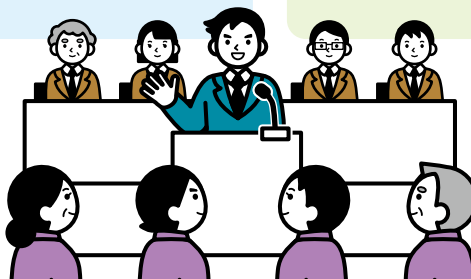
年度の途中で状況の変化や台風災害等の新しい事態が発生した場合にも臨機応変に対応することが重要です。このとき市は仕事の計画を一部変更し、同時に予算も見直します。これをまとめた計画を「補正予算」といい、「予算」と同じように市議会でも審議し、認められると予算が変更されることとなります。

「予算編成」…市長

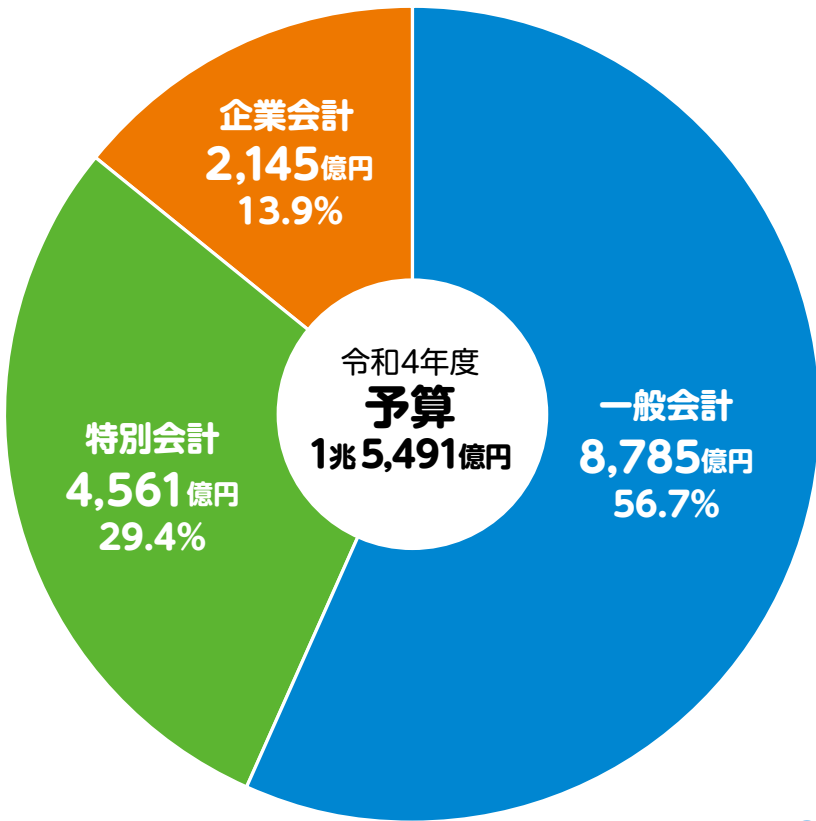
予算づくりはすべての仕事を細かく見直しチェックする作業から始まります。その上で人やモノ、サービス等にどの程度の費用がかかるのかを詳細な計画としてまとめたものが「予算案」です。市長が予算案をつくり、市議会に提出します。

「予算審議」…市議会

市長から提出された予算案は、市議会でも審議されます。市議会議員は多角的にチェックしながらこれを審議し、最終的に可決されると予算が決定します。予算は毎年、年度ごとに組まれています。



目的などに応じて「予算」は大きく3種類あります。



▶令和4年度 各会計予算の内訳

予算は収入の種類や使い道などに応じ、分けて扱われています。

複数の「おさいふ」を使い分けしながら収支を明確にするとともに似ています。

一般会計

市の基本的な仕事(教育、福祉、ごみ処理、消防、道路の整備など)を行う予算です。主に市税で賄われています。一般会計の「おさいふ」は1つです。

関連記事▶P.4

次ページ以降では本年度の一般会計について、詳しくご紹介しています。

特別会計

国民健康保険や競輪なども市の仕事の一部です。これらは特定の収入があるため独立した予算で収支を明確にし、一般会計とは分けています。川崎市には現在13の特別会計があります。



●福祉

●教育



●国民健康保険



●競輪事業

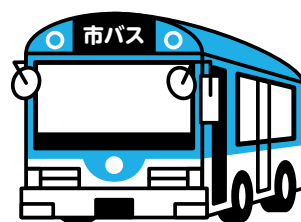


●道路整備

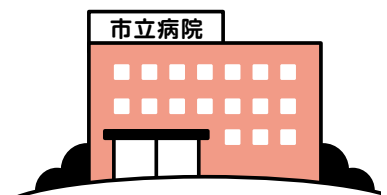
企業会計

市営バスや病院などは、それ自体が民間の会社のように活動していて、基本的に自らの収益で運営されています。

川崎市には現在5つの企業会計があります。



●バス事業



●病院事業

Q 予算を「小分け」にするのはなぜでしょうか？

A 一部の事業については、「小分け」にすることにより、わかりやすく、使途を明確にすることが必要な場合もあるからです。